

茨城県教育委員会主催 「次代を担う高校生に向けた教職セミナー」

○ 実施日 令和元年 11 月 23 日（土） 13:30～16:00

○ 実施場所 為櫻学習館 1 F 多目的ホール

○ 参加生徒 32 名（他校からの参加生徒 13 名を含む）

「次代を担う高校生に対して、教職に対する興味関心を高めることにより、地域を支える教育人材の育成を図る」という目的のもとで実施されている県主催「教職セミナー」ですが、その第 3 回が今年度も本校を会場として実施されました。本校からは 19 名、他校生 13 名の 32 名が、小学校、中学校、高校、特別支援という 4 つの分野に分かれてグルーptークを実施しました。各分野からは現役の先生方 4 名も出席してパネラーを務めてくださいました。

まず冒頭に高校教育課 指導主事 草野 啓司 先生から全体講話をいただいた後、「若手教員からのメッセージ」というタイトルでパネルディスカッションへと移行し、さらに各分野希望者に分かれてのグルーptークが行われました。

【パネラー】

筑西市立川島小学校 教諭	稲川 文哉（いながわ ふみや）先生
筑西市立下館南中学校 教諭	野部 瞳（のべ ひとみ）先生 ※本校卒業生
県立潮来高等学校 教諭	関口 千陽美（せきぐち ちよみ）先生
県立境特別支援学校教諭	滝川 由梨絵（たきがわ ゆりえ）先生

日頃接することができない現役の先生方のご指導、そして何よりも所属を越えて集まった志を同じくする仲間との出会い、交流が、参加した高校生にとっては貴重な財産となったはずです。今回のテーマ「教職の魅力、教員になるには、高校時代にやるべきこと」について、各自が改めてとらえ直す契機となったのではないのでしょうか。

ご多用のなか、ご参集いただいたすべての方々に心よりの御礼を申しあげたいと思います。



☞ 本校生徒のアンケートより

設問１ あなたがこの事業に参加した「目的」は何ですか。

- 教職に興味があったので、詳しく知りたいと思ったから。
- 自分の夢を見つけるため。教員という仕事に興味を持ったから。
- 教職に興味があったから。教員になるためにはどうすればいいか、どのような工夫をすればいいのかを知りたかったから。
- 教員の仕事について、本やインターネットでは知ることのできない情報を得るため。
- 教職について興味があり、特別支援学校の先生に話を聞ける機会は貴重だと思ったから。
- 現場の先生のお話を聞き、教員になるためには今の自分に何が足りないのかを確かめ、自分の進路に役立てるため。

設問２ 実際に参加してみて、特に印象に残ったことは何でしたか。

- 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校はどれも仕事内容が異なっていて、どの仕事も楽しいということ。
- 小中高特のどの先生達も、ブラックだとは答えなかったことです。あとは、教師だからか、話すのがとても上手でした。
- わかりやすい授業を考える時に、ただ考えるだけでなく、生徒の立場になって考えることもしているという話。
- 特別支援学校の教師の方は、自分で新しく授業の内容を考えるということ。
- 子供の気持ちを考えること。 ○小学生の素直な反応にやりがいを感じること。
- 小中高特別支援学校の先生方から自己紹介から始まって、質問を１人ずつ小学校の先生から順に答えていく時に、比較がしやすかったこと。
- 小学校、中学校、高校、特別支援学校、同じ教育機関ではあるが、それぞれ特色が想像以上にあったこと。
- どの校種の先生もやりがいがあるとおっしゃっていたのが印象的でした。自分の仕事に誇りをもっているのがとても素敵でした。
- 大変な仕事だと思っていたけれど、どの職種の先生達もそれがやりがい、大変なことよりも楽しいことや嬉しいことの方が沢山あると仰っていたこと。
- 周りの人たちが皆、教員はブラックだと言っていて驚いた。しかし、先生方は皆ブラックだと思ったことはないと言っていたのが印象に残っている。
- 今の教職に必要な能力を改めて考えることができた。

設問3 この事業に参加するまで知らなかったこと、初めて知ったことは何でしたか。

- 特別支援学校の教員になるためには、違った免許がもうひとつ必要だということ。
- 最近の小学校で行われている英語の授業の仕方が、今までよりもさらに本格的になっていること。
- 苦痛を感じない先生もいること。自分の好きな職業をしているから、全く苦しくないと言っていた先生がいた。
- 外国では授業にスマホを使っていること。 ○免許の種類が意外とたくさんあること
- 道徳の授業で生徒のことを把握する。 ○教師の生活。
- 校種が1種と2種があること。
- 特別支援学校では、教科書ではなく生徒一人ひとりの特性に合わせた授業が行われていることを初めて知りました。
- 小学校・中学校・高校・特別支援学校でそれぞれ生徒の接し方みたいなものに違いを感じた。それぞれの先生方は自分の働いてる小学校だけや、中学校だけではなく2つや3つの教員免許を持っていた。

設問4 この事業への参加を通して、今後あなたが実践してみたいと思うことは何ですか。

- 自分のなりたい職業について、わからないことがあったらインターネットなどで調べる。
- 教員にさらに興味をもてたので、また機会があったら参加してみたいと思います。
- 色々な人とコミュニケーションをとる。勉強をし、苦手をなくす。
- 2年生の夏休みに、教師体験に行くこと。
- 子供の気持ちを考えること。 ○勉強を頑張る。
- もっとコミュニケーションをとること。今を楽しむこと。全力で何事もやること。
- さまざまな価値観を持つ人と多く関わって視野を広げる。今熱中していることに本気で取り組む。
- 専門的な知識を学べる大学に行くために勉強をしっかりとる。 ○沢山のひとと会話をすること。
- まず、今のうちから沢山のひとと話して人間関係を気づくこと。次にボランティア活動など今のうちに色々な体験をすること。
- 自分の理想の教員になるために、今はしっかりと勉強をし、普段はあまり話さないような人とも積極的にコミュニケーションを取っていききたい。

設問5 今回の事業について、感じたことを自由に記述してください。

- 教員になることは大変だと知ったが、自分の将来のために、今やっている勉強を頑張ろうとおもった。
- 先生方の生徒に対する思いがとても真剣で、まっすぐだったので、心に響くものを感じました。
- 普段受けている授業も、ただ考えられているだけでなく、先生が生徒のことまで考えた授業をしていることがわかって、1つ1つの授業がとても手が込んでいると思った。また、先生の生徒一人一人に対する気遣いがとても細かいことまで考えられていて、いつも一切手を抜いていないやりかたが良かったと思った。

- キラキラと輝いていた先生しかいなかった。教師をしていることに誇りを持っているように感じた先生が多く、どれほど教師という職業が良いものかを知ることができ、参加して本当に良かったと思った。
- 先生になっている人から話を聞くとその職業になる過程は人それぞれだったのでその点は勉強になった。
- このような会には積極的に参加したい。 ○教師になりたいともっと思った。
- たのしかった！ 去年からずっと教育関係の講義には参加しているけど、おもしろいことに、いつも同じことではなく、新たな発見もできて、参加してよかったなとおもった。 先生になるまでに色々な努力が必要だし、たどり着くまですごい長い時間があるけど、志望大に合格できるように、今からコツコツできることをやっていきたいと強く思った！
- 4人の先生のお話を聞いて、私はオールラウンドにどの教科も教えることができ、児童の心に寄り添えるような小学校教員になりたいと感じました。
- グループトークの時間が楽しかったので短く感じた。
- もっとグループトークの時間を長く取りたいなとおもった。
- 先生の生の声を聞くことが出来て、さらに特別支援教育に興味がわいた。
- とても勉強になるセミナーだった。自分の教員になりたいという思いがより一層強くなった。

設問6 この事業に参加して、教職についての理解は深まりましたか。

☐ 未回答を含める

回答数17

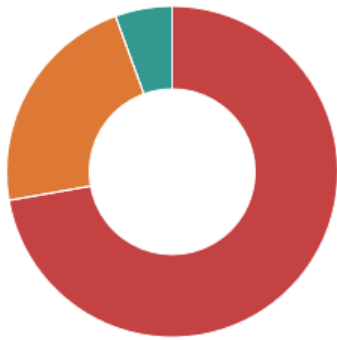


選択肢1	12人(70.6%)	大いに深まった
選択肢2	5人(29.4%)	深まった
選択肢3	0人(0.0%)	どちらとも言えない
選択肢4	0人(0.0%)	あまり深まらなかった
選択肢5	0人(0.0%)	深まらなかった

設問7 今回の事業は、あなたにとって有意義でしたか。

☒ 未回答を含める

回答数17



選択肢1	13人(72.2%)	大いに有意義だった
選択肢2	4人(22.2%)	有意義だった
選択肢3	0人(0.0%)	どちらとも言えない
選択肢4	0人(0.0%)	あまり意義がなかった
選択肢5	0人(0.0%)	意義を見出せなかった
未回答	1人(5.6%)	

